

柚木みちよし議員、倉敷産業を強力に支援

◆経済産業委員会にて質問

12月6日(水) 柚木みちよし議員は、衆議院経産委員会にて地元・水島コンビナートの発展やクリーン自動車普及の支援策などを質問しました。



12月6日(水)
経産委員会にて初質問する柚木議員(左)と答弁する甘利経産大臣(右)

水島コンビナートではRING(リング)計画と呼ばれる高度統合のプロジェクトがなされています。柚木議員がRING計画のさらなる深化のために省庁のワクを越えて産官連携を進めるべきだと主張すると、資源エネルギー庁の望月長官も「自治体などと積極的に連携していく」と前向きな答弁をしました。

さらに柚木議員はクリーン自動車の普及を促進するための税制措置を主張。甘利経産大臣の「軽減措置の延長を働きかけているところだ」という前向きな答弁を引き出しました。柚木議員の働きかけもあり、この優遇税制は延長されました。

【ほかの質問と答弁】

■ 廃材を利用したバイオエタノール開発へどう取組むか?
→個人的にも大変大事な技術だと思う(経産省高木政務官)。

■ (倉敷市の児島地域の取り組みを例に挙げて) 合併市町村では複数の中核市街地活性化計画をつくれるか?
→地域の事情により可能(内閣府)。

■ クリーン・ディーゼルの活用についての考えは?
→ご指摘のように普及へ検討したい(高木政務官)。

◆厚生労働委員会にて質問

12月1日(金) 柚木議員は厚労委員会にて質問し、地元で問題となった臓器移植問題に関連して問題点を指摘しました。生体肝移植に医療保険が適用になったにもかかわらず、基準があいまいで、手術後に完全に保険適用外や一部だけ保険適用とされる場合があります。柚木議員はこの問題を指摘し政府に対応を求めました。

柚木議員は11月に「民主党B型・C型肝炎総合対策推進本部」の事務局長となり、肝炎対策にも取り組んでいます。輸血・薬害・注射器などでB型・C型肝炎に感染した人たちが全国に300万人もいるのではとされています。

News JAPAN で報道されました!



12月22日(金)のニュース・ジャパン(OHK)にて柚木議員の質問がとり上げられました。



11月28日(火)
党B型・C型肝炎総合対策推進本部にて柚木議員は事務局として司会・進行。